

第5回市民参加推進委員会 会議録（概要）

- 1 日 時 平成27年8月19日（水）午前10時～正午
- 2 場 所 流山市役所第2庁舎304会議室
- 3 出席委員 井原委員長、吉永副委員長、秋山委員、今村委員、
上平委員、国府田委員、野路委員、森委員、
和田委員
- 4 欠席委員 山中委員
- 5 事務局 倉井部長、須郷課長、斉藤課長補佐、竹之内係長、
渡邊
- 7 傍聴人 1名
- 8 協議事項
 - (1) 答申（案）について
 - ア 平成26年度評価シートについて
 - イ 答申（案）について
 - (2) その他
- 9 協議内容 別紙のとおり

(1) 答申(案)について

ア 事業評価シートについて

市民参加条例対象26事業についての評価シート(案)うち、うち4事業の評価シート「⑤当該事業の評価について」について、協議が行われ、主な意見は次のとおり。

なお、26事業の評価については、別添評価シートのとおり決定した。

【流山市高齢者計画】

- ・当該事業は、3年に1回に改正する計画であることを市民に周知させているか疑問である。今後、市民誰もが高齢化していく中で、市民がどれだけこの計画を認識しているか疑問を持ったため、情報提供(周知)に対し努力すべきと判断した。
- ・評価基準としては、他のA評価事業のように特別な工夫をしたか疑問がある。
- ・市民参加の手法の選択は評価するが、そのスケジュールに問題がある。また、計画策定事業のため、市民が計画そのものについて意見を聞かれても意見が出しにくいいため、情報提供の工夫が必要ではないか。
- ・目立った工夫はしていないが、内容が高齢者計画であるため、ツイッター等でなく、行政側から説明会を行った姿勢は評価したい。
- ・市民参加の手法としては、手順を踏んで実施している点を評価した。

【流山市地域支え合い活動推進条例】

- ・この条例は、曖昧な条例であり、施行後はどうなるのかと感じたが、市民参加の手法としては、担当課はタウンミーティング等数回にわたり行ったことは評価したい。
- ・推進委員会は事業内容について評価してはいけませんが、条例施行後は、自治会への説明会を行ったが、はたしてどれだけ自治会が理解しているか疑問である。ただし、市民参加の手法としては評

価したい。

【流山市健康都市プログラム】

- ・市民の意見を聞くには聞きづらい内容である。意見を聞きたいのであれば、見やすく内容の解る資料の工夫が必要ではないか。
- ・理念的なもの（事業）であれば、事業に反対する人はいない。担当課は、その理念の説明をどの程度まで説明するかを検討する必要がある。市民に聞く案件（対象案件）自体の検証も必要ではないか。
- ・情報提供の方法に工夫が見受けられない。

【流山市保育料徴収規則の改正】

- ・この事業は具体的な事業であり、保育料の値上げについてもかわらず、国からの情報が遅い理由からスケジュール的に厳しいとはいえ、パブリックコメントは0件というのは情報提供に問題があったのではないか。
- ・パブリックコメントは書面での意見提出であり、書き方は難しいため、直接意見を聞く意見交換会の方はよかったのではないか。

【その他について】

評価シートについて

- ・評価が4段階のため、例えば、B評価でも、A評価に近いB評価とC評価に近いB評価がある。評価方法そのものについて検討すべきと考える。
- ・項目別に評価する方法もどうか。

答申受けた行政の対応について

- ・行政は、どのように答申を反映させたのか見えない。そのため、実施シート等にどのように反映させたのか等を明記させるべき。（答申を積み上げた結果がわからない）

イ 答申（案）について

事務局より答申（案）については、次回の推進委員会で協議する。
なお、修正等があれば、8月24日（月）午前中までに事務局に提出することが決定された。

（2）その他

ア 第6回推進委員会について

- ・開催日は8月26日（水）午後3時 304会議室とする。
- ・審議内容は、建議に対する答申（案）についてとする。

井原委員長

以上で会議を終了する。